

情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報が特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

JUS QA の利用に関する評価および課題点の検討

1 研究の対象

- ①2023年12月25日から2024年1月26日までに薬剤部内に寄せられた薬剤に関する全質疑応答内容
- ②JUS QA に登録されている質疑応答内容
- ③札幌厚生病院に所属している薬剤師に対するアンケート結果

2 研究目的

JA 北海道厚生連では、薬剤師が日常業務に活用できるツールのひとつとして医薬品情報一元管理システム「JUS D.I.」(日本ユースウェアシステム株式会社製)を導入している。その機能のひとつである「JUS QA」は、薬剤情報に関する質疑応答を記録し、資料の添付・検索用キーワード・タグ付などを可能とするシステムであり、自施設のみならずグループ施設内での情報共有も可能である。JUS QA を用いることにより、過去に経験した質疑応答について迅速かつ画一的な情報検索と回答が可能となるとともに、重複調査の回避など業務効率化にもつながると考えられる。

JUS QA については2022年3月より運用を開始し、DI 担当薬剤師を中心に記録管理を行っているが、全薬剤師による JUS QA の使用状況等を評価できていない現状にある。そこで使用状況や質疑応答内容について実態調査を行うことにした。また、当院薬剤師に対して JUS QA 利用に関するアンケート調査を行い、その利便性について評価するとともに、今後の課題について抽出し、JUS QA の有効な活用法につい

て検討する。

3 研究に用いる試料・情報の種類

試料:なし

診療情報: なし

4 研究組織

当院単独での研究です

5 情報の提供先・提供方法

上記診療情報等を他施設に提供しません。

6 利益相反に関する事項

本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院 (☎:代表 011-261-5331 内線 2131)

研究責任者:薬剤部 片倉 佐都子

問い合わせ担当者:同上